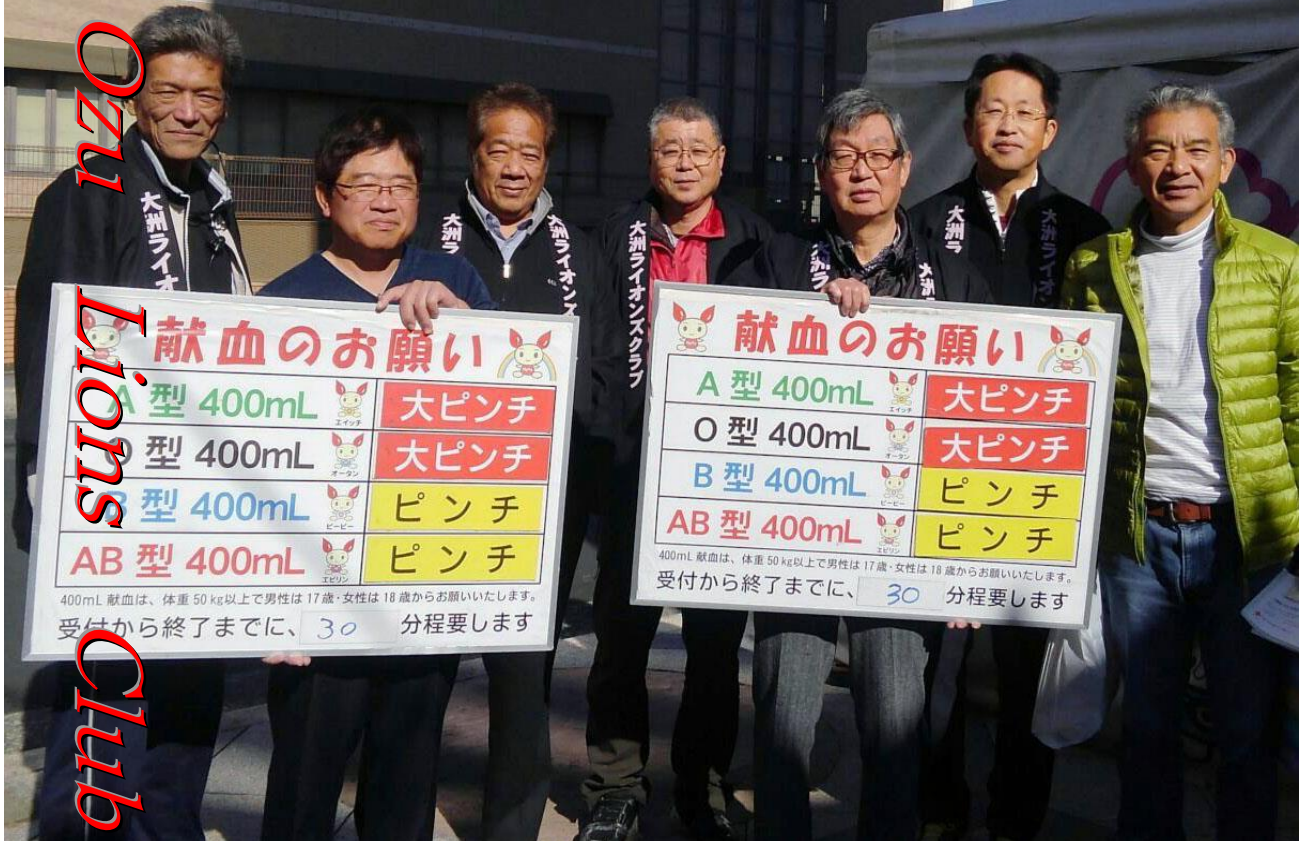


おおず

2019～2020 年



December
2019
No.426

12

国際会長テーマ

「 We Serve 」

336-A 地区スローガン

「Service Activity is the key to Lions Clubs」

クラブ会長スローガン

「もっとボランティアを」で We Serve

第25回 大洲少年少女合唱団定期演奏会

大洲少年少女合唱団定期演奏会が12月21日に大洲市民会館中ホールで開催されました。第25回を迎えるにあたり、今回の演奏会は、開催時期を変更して、



クリスマスコンサートをメインにおいて、趣向を凝らし、バラエティー溢れる演奏会となりました。賛助出演としては「大洲ふじかけコーラス」の皆さまと「大洲農業高等学校吹奏楽部」の部員の皆さまをお迎えして、楽しい演奏会を企画して頂きました。

我が大洲ライオンズクラブは恒例の合唱団のサポートメンバーとして、亀田会長を先頭に、菊池L・佐々木L・眞鍋L・濱田Lの5名の有志が参加を致しました。その他に大野委員長、榊田L・村上L、演奏会のビデオ記録係として沖村幹事、そして広報委員会から宮下副委員長が取材をさせていただきました。60周年の記念事業で贈呈させていただきました、ベストは目の覚めるようなまっ黄色の鮮やかな色彩で目を見張りました。団長が来られないので、大野委員長が代わりに挨拶され、大洲ライオンズクラブと少年少女合唱団との関りから、団員数が少し減少している現在の合唱団の現状を会場の皆さんにお話しして頂きました。

(取材/会報委員会)



第25回 大洲少年少女合唱団定期演奏会



「第25回定期演奏会に参加して」

眞鍋 幸一



大洲ふじかけコーラスの皆さん



愛媛県立大洲農業高等学校吹奏楽部の皆さん

令和元年12月21日(土)午後1時30分から大洲市民会館中ホールで、「大洲少年少女合唱団第25回定期演奏会」が開催され、大洲ライオンズクラブの有志も参加してきました。今年はずっと違って、クリスマス時期での開演でした。大野委員長のあいさつと亀田会長のサンタクロースが秀逸でした。また、大洲ふじかけコーラスの皆さんが賛助出演し、「もしもピアノが弾けたなら」「心の瞳」「海よ」を歌われました。愛媛県立大洲農業高等学校吹奏楽部の「SING SING SING」「クリスマス・イブ」「サンタが街にやってくる in Swing」もよかったです。大洲ライオンズクラブは第2部の途中から、「雪山賛歌(マフラーと帽子をかぶって、合唱団OB男子と一緒に)」、そして「よろこびの歌」を歌い、エンディングでは、「Dream&Dream～夢をつなごう～」「さようなら」を合唱しました。午前中のリハーサルでは、合唱のチェックとステージの出入りを確認しましたが、本番ではステージに並ぶのが少し遅くなりながらの雪山賛歌となりました。

第25回 大洲少年少女合唱団定期演奏会



今回の定演は兵藤団長が不在のため、大野委員長が会場の方皆さんにご挨拶をされました。大洲ライオンズクラブと、少年少女合唱団との馴れ初めを合唱団設立時から説明して頂きました。団員数が減少している現在、本定期演奏会での団員の歌声を聴いていただき、参加してみたいと思う新しい団員が少しでも多く増える事を期待いたします。



今回の被り物はサンタクロースと相成りました。トナカイ役の神徳先生を従えて、貫禄十分の亀田会長扮するサンタクロースが突然現れて、会場の皆さんにお菓子のプレゼントを配りました。今回の定期演奏会は、いろいろな仕掛けがあり、いつもの演奏会と一味違った発表会になっていました。

第25回 大洲少年少女合唱団定期演奏会



令和元年12月21日(日)大洲市民会館において、第25回大洲少年少女合唱団定期演奏会(テーマ、クリスマスがやってくる)が開催された。大洲ライオンズクラブからの出演者は、亀田会長、濱田し、佐々木し、真鍋し、菊池しの5名であったが、ビデオ撮影に沖村幹事、写真撮影に宮下し、応援団に、梶田し、岩田し(主は孫娘の応援か)、村上しと多数の参加があった。本年の演奏会は、クリスマス大会であったため

亀田会長扮する「サンタクロース」(兵藤団長の代役)が会場に現れ、大いに場を盛り上げた。練習なしのぶっつけ本番であったため、うまくいくのか非常に心配されたが、何の憂いもなくプレゼントを配るなど大役を無難にこなしていた。私たちライオンズメンバーの演目は、「雪山賛歌」「ベートーベン作曲 交響曲第9番よろこびの歌」「Dream&Dream」「さよなら」の4曲であった。演奏会の出席者は、午前中のリハーサルの後、別室で特訓をして本番に



フレンドの皆様より花束の贈呈

臨んだ。本年初めて歌う「雪山賛歌」は、ライオンズメンバー4名(会長は、サンタクロースのため不参加)と合唱団OB3名の7名(通常は合唱団の団員も一緒に歌う)で行った。英語での歌詞、舞台への登場の仕方、歌っている時のパフォーマンスなどいろいろ注文が入り戸惑うことが多々あったが、まあまあの出来かなと思われる。また、「ベートーベン作曲 交響曲第9番よろこびの歌」は合唱団団員を初め出演者全員で歌ったため迫力のある演目となった。最後の「Dream&Dream」「さよなら」は、脇役であったが、「Dream&Dream」は曲が難しく難儀した。本年は、趣向の凝らした定期演奏会になり、大変楽しい時が過ごせたと思っている。出演者、カメラマン、応援の皆様ご苦労様でした。 菊池 敏則



献血運動/アクトピア大洲



12月15日アクトピア大洲を会場にして、献血運動がライオンズの声掛けで大洲ロータリークラブと合同で開催されました。弓達委員長を中心にクラブメンバーが一致協力して、献血協力の声掛けを致しました。日本の献血事業に於いて、ライオンズクラブの貢献度は絶大で、献血事業の大半において、ライオンズクラブがかかわっております。愛媛県内でもA型やAB型などがかなり不足気味になっており、これからの冬には特に血液不足がおこります。今回は、献血受付者85名、400ml採血者78名、不採血者7名、そして待ち時間1時間以上になって、NG者10数名となっております。当日参加して頂きましたメンバーの皆さまご苦労様でした。



宇和LC60周年記念式典



宇和ライオンズクラブの創立 60 周年記念式典が 12 月 7 日（土曜日）に宇和文化会館に於いて開催されました。高岡英治地区がバナーを初め、地区キャビネット関係者、愛媛県知事並びに一般ご来賓の皆さま、多数のブラザークラブの参加者を得て、盛大に開催されました。稲垣大会委員長の「歓迎のことば」に始まり、和田誉 宇和 LC 会長は、あいさつの中で昨年の災害を思い起こし「われわれライオンが被災者の立場に立ち、One Team の精神で心の安らぎを与える存在にならないといけません。」と呼びかけました。高岡がバナーは「60 年を経過しますと時代や環境の変化もあり、活動も大変になってきます。一同こころ一つにして時代に合ったクラブを作りましょう」と挨拶されました。



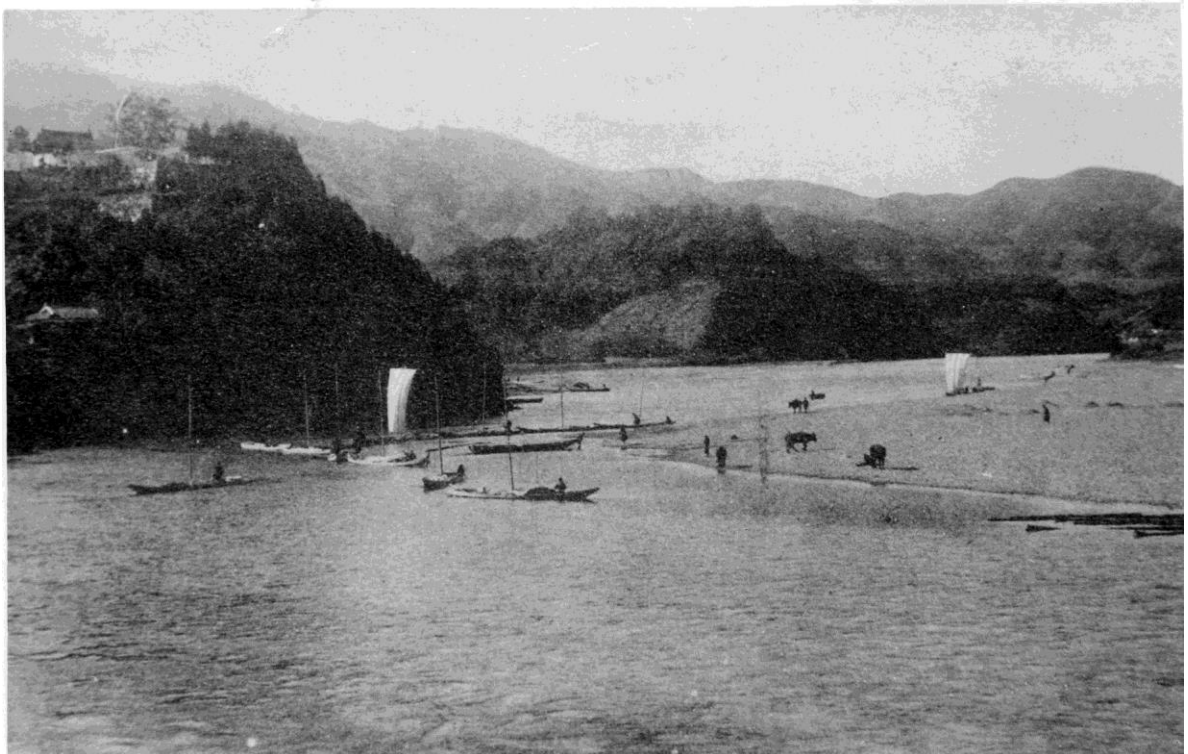
大洲の昔懐かしい町並みや風景

その4

大正2年の秋



大正2年帆掛け舟





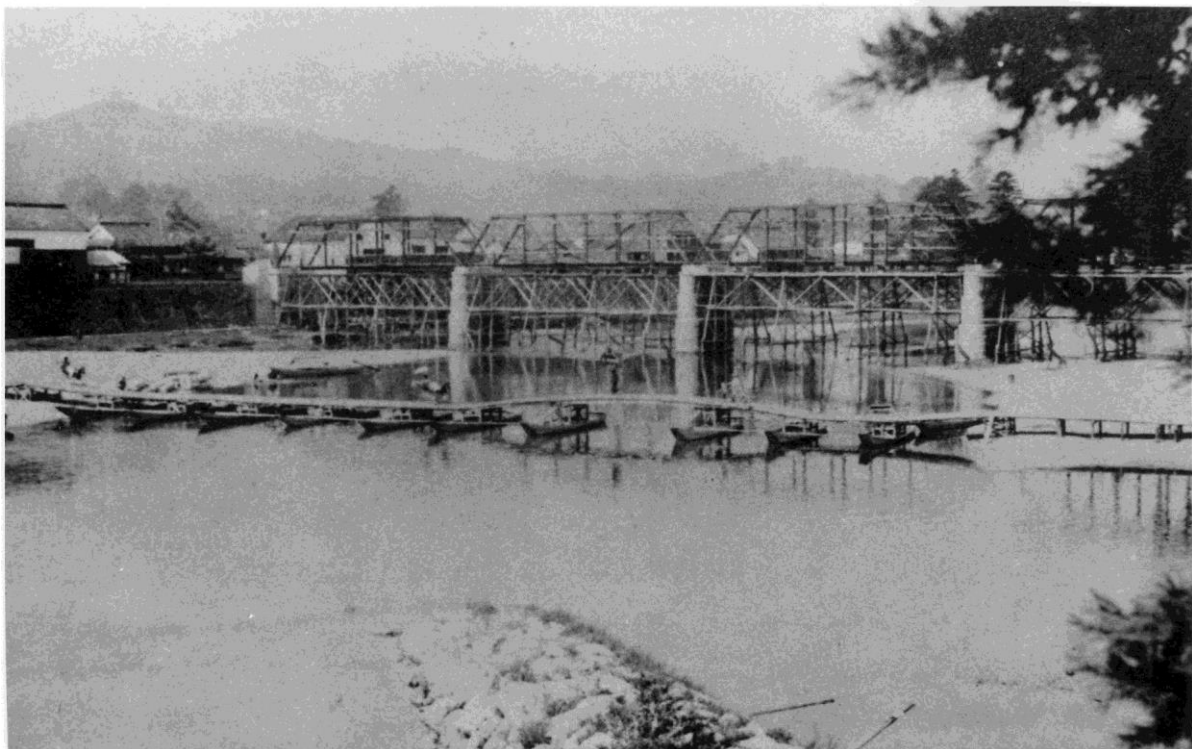
大洲の昔懐かしい町並みや風景

その4

大正2年 肱南・肱北地区



工事中の肱川橋と浮亀橋





ドネーションありがとうございます (2019.11/22-12/13)

ライオンズのこと、個人的なこと、身の回りに起こったことへの
感謝、報告、幸せをドネーションで共有しましょう！

11/22	古森	やっと新居に入ることが出来ました
	沖村	昨日お宝が当たりました
	眞鍋	移動例会で交流の家をご利用頂きありがとうございます
	菊池	12/21合唱団定期演奏会クリスマス大会です、多数の参加を
	佐々木	先週急性大腸炎で入院していました 今日はいびり控えます
	亀岡	神戸マラソン完走しました
	亀田	スーツ姿の写真を撮ってきました、出来上がりを見て顔に少しショック！
	中野	移動例会、お世話になります
	松岡	寒い日が続かないよう祈ります
12/13	寺尾	例会訪問ゾーン最後になりました、お世話になります
	富永	1/24記念ゴルフ、1/25大会式典骨子が固まりました、メンバーの参加をお願いします
	菊池	12/14 練習日、12/21定期演奏会本番、ぜひご参加を
	亀田	暗くなるのが早くなりましたが一番早く暗くなるのは冬至ではなく12/10頃だそうです
	沖村	今年も12月になりました、がんばりましょう
	亀岡	大阪マラソン完走しました、10回目の完走です
	松岡	寒い日が続きますが、体に気を付けてください

ドリンクドネーション
11/22 11月第2例会

ドリンクドネーション ご協力
ありがとうございます❤️

亀田	沖村	兵藤	眞鍋
----	----	----	----

川
柳

柁
田
与
一

軽
い
の
が

重
い
の
に
勝
つ
技
の
冴
え

欲
張
つ
た

も
つ
と
が
仇
で
損
を
す
る

テ
ー
プ
カ
ッ
ト
は

大
き
な
リ
ボ
ン
つ
け
た
人

「編集後記」&「表紙写真の説明」

宮下 利秋

献血推進の努力は日本各地のライオンズクラブにより、それぞれの地域に合う形で進められてきました。その努力が認められ、1990年、昭和天皇のご遺金を元に日本赤十字社で創設された「昭和天皇記念献血推進賞」の第1回受賞団体に、ライオンズクラブが選ばれたのであります。第26回献血運動推進全国大会では、日本赤十字社名誉副総裁である皇太子殿下からライオンズクラブの代表者へ表彰状が授与されました。日本のライオンズクラブは時代の変化に応えつつ、献血推進のイニシアチブを取ってきました。今、立ちはだかる大きな壁の一つは、少子高齢化です。献血可能な年齢の割合が減る一方、輸血を必要とする人の85%を占める50歳以上の割合は増えていきます。ライオンズが行う地元の高校や大学での出張献血や、若い人たちへの啓発活動の価値はより高まっています。そして需要は更に大きくなります。ライオンズはこれからも先頭で旗を振り、後に続けと吼え続けるでしょう。